

新しいビフィズス菌増殖刺激物質

名誉教授 葛西 宏

利用分野

本発明は腸内フローラの改善に有効なビフィズス菌の増殖作用を有する安定な物質及び、それらを含む医薬及び食品を提供する。



シーズ

ビフィズス菌増殖刺激物質 (Bifidogenic Growth Stimulator, BGS) である1,4-ジヒドロキシ-2-ナフトエ酸 (1,4-dihydroxy-2-naphthoic Acid : DHNA) について鋭意研究を行い、DHNAの安定化を目的としたDHNASを先に出願した (特願2014-123847)。さらに、この新しいDHNA関連物質はDHNA生産菌 (プロピオン酸菌等) と植物培養細胞の混合培養等により得られることが分った。

ニーズ

様々なBGSが開発されているが必ずしも十分な効力があるとは言えないのが現状である。従来のDHNAは酸化により容易に分解され不安定であることから、その分解を防ぐため、DHNA分画を添加する飲食品、ゲル状食品等から窒素置換等により溶存酸素を完全に除去するか、あるいは抗酸化剤を共存させる等の工程が必要とされていた。化学合成ではなく菌体培養により製造可能なため食品添加物としてのハードルは低い。

連携分野

新規BGSは優れたビフィズス菌増殖作用を有し、腸内フローラの改善に有用であり、かつ安定であることを見出した。今後食品関連企業との共同研究により製品化に向けた最適条件を検討したい。



知財保護

特許第6607595号、特許第6630931号



ビフィズス菌は、
下痢や便秘の予
防、肝臓障害の軽
減などに有効です



本学マスコットキャラクター
ラマディー